

坂田山共生の森マップ

(長野県須坂市坂田町)

健康づくりウォーキングコース

- 竜の割石コース（約4km・時速4kmで1時間）
ふれあい広場→竜の割石→和合休憩所→吉向焼窯跡→お羽黒山休憩所→坂田神社→ふれあい広場

—— 山寺の徑コース（約2.2km・時速4kmで35分）
ふれあい広場→山寺跡→三峰神社里宮→天徳寺清水→天徳寺→坂田浄水場→共生の丘休憩所→ふれあい広場



尾根縦走コース

起点 神田山～終点 天徳寺
全長：4,613m 標高差：441m
見晴らし 覗き 古城(ふるしろ)跡

⑤坂田山 高さ87
起点～273

明覚山
958m



坂田山の草花

坂田山にはたくさんの草花が咲いています。
見つけたら□に✓をしましょう!!



イカリソウ (✿4~5月)

花の形が船の錨（いかり）に似ていることから付けられました。葉は左右対称でハート型。生育地は落葉樹林の中・林のふちなど。花の色は淡い紫色から淡い赤紫色。坂田山ではやや標高の高いところで見られ、水入り地盤では群生しています。



スミレ (✿4~5月)

花が大工さんが使うスミレ（墨つぼ）に似ているからすみれと呼ばれるようになりました。草丈5~15cm、野原・丘陵地などに生育する多年草。花の色は紫色から濃い赤紫色。坂田山・坂田山などで普通に見られます。



イチリンソウ (✿4~5月)

語源は1本の茎に1輪の花をつけることから。地下茎で群がってふえる多年草。生育地は丘陵地の草地・山地のひだまり・林のふちなど。坂田山ふれあい広場入口付近に群生しています。



ヤマブキ (✿4~5月)

低木。花は鮮やかな黄色。がく片は5、花弁も5枚で黄色。バラ科のヤマブキは5弁の花ですが、ヤマブキソウのほうは4弁で、花も大きめ。坂田山全山で見られますが坂田神社周辺・見晴らしの丘に多く見られます。



ガクアジサイ (✿6~7月)

花序の周辺に装飾花があり、中央部は両性花になっています。花色は青・桃・白など。平成15年に青色のガクアジサイが大星・小和合地籍に植えされました。



ノコンギク (✿8~11月)

野山でよく普通に見られる多年草。茎は高さ50~100cm。夏から秋にかけて、茎の先端に多数花をつけます。花は舌状花で径2.5cm。坂田山では全山で見られますが、日当たりの良い作業道周辺でよく見られます。



フレモコウ (✿8~11月)

日当たりの良い山野に生える多年草。茎は高さ70~100cmになり、8~11月にかけて、枝先に暗赤色の短い円筒状の花穂をつけます。坂田山では日当たりの良い大星の作業道周辺で見られます。



ツリフネソウ (✿9月)

細い花柄にぶらさがる花の形を、船に見たてつけられた名前。坂田山ではふれあい広場入り口付近の沢沿いで生い茂っています。



アキノキリンソウ (✿9月)

黄色の小さな花が穂のように咲く、秋を代表する山野草です。草丈40~80cm。坂田山では日当たりの良い作業道周辺で見られます。



銃座付近の桜



「坂田山共生の森」は、
「NPO法人坂田山共生の森を愛する会」の
みなさんによって護られています。

お問い合わせは

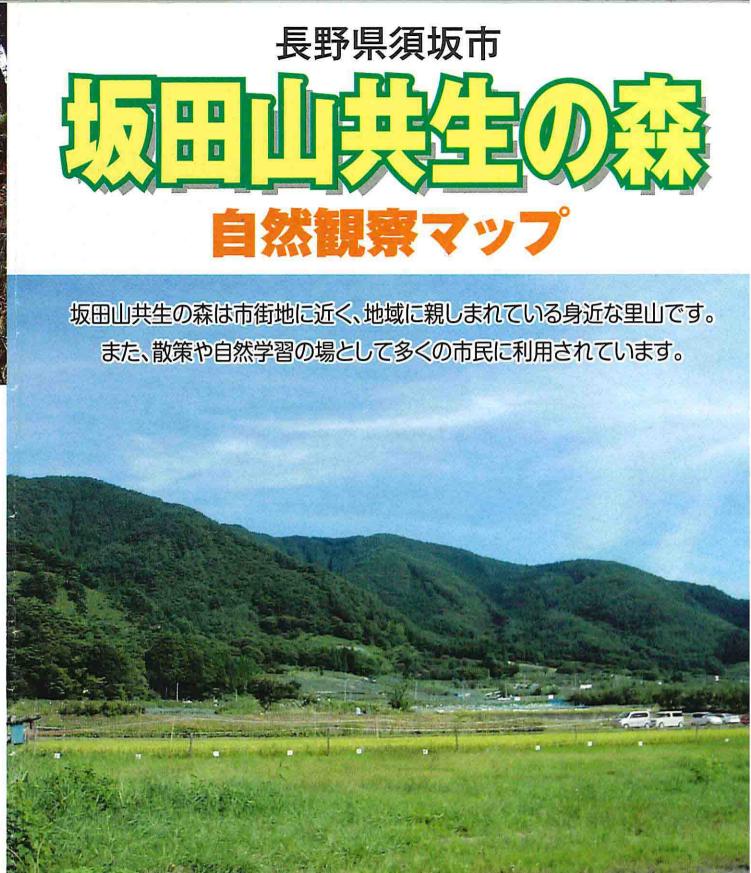
NPO法人坂田山共生の森を愛する会

e-mail : sakatayama@stvnet.home.ne.jp
<http://members.stvnet.home.ne.jp/st0353307/>

須坂市産業振興部 農林課

phone : 026-248-9004
e-mail : s-nourin@city.suzaka.nagano.jp

平成30(2018)年11月作成



坂田山共生の森は市街地に近く、地域に親しまれている身近な里山です。
また、散策や自然学習の場として多くの市民に利用されています。



紅葉の遊歩道



まつせみの徑



この平野を一望する「鏡壁」は昭和22年に完成した
鏡壁人跡跡のため、この和合地区に位置する「五代
明治28年日清戦争中の軍艦砲台の砲台跡」が在
る。現在は「五代」の名で親しまれており、多くの
人が訪れる観光地である。



多くの古河市有史以来、二枚貝などの化石を含む
古河川遺跡が発見されたことから「五代」
と命名された。この遺跡は古河市立五代文化園
に位置する。

五代は古河市立五代文化園付近に位置する、五代寺の
境内である。

五代寺は古河市立五代文化園付近に位置する、五代寺の
境内である。



①草の割合

主な草木は草木で構成されるが、草木の下には土壌が形成され、草木の根が土壌を構成する。草木の根は土壌を構成するが、草木の根は土壌を構成する。



主な草木は草木で構成されるが、草木の下には土壌が形成され、草木の根が土壌を構成する。草木の根は土壌を構成するが、草木の根は土壌を構成する。



主な草木は草木で構成されるが、草木の下には土壌が形成され、草木の根が土壌を構成する。草木の根は土壌を構成するが、草木の根は土壌を構成する。



主な草木は草木で構成されるが、草木の下には土壌が形成され、草木の根が土壌を構成する。草木の根は土壌を構成するが、草木の根は土壌を構成する。



主な草木は草木で構成されるが、草木の下には土壌が形成され、草木の根が土壌を構成する。草木の根は土壌を構成するが、草木の根は土壌を構成する。

主な草木は草木で構成されるが、草木の下には土壌が形成され、草木の根が土壌を構成する。草木の根は土壌を構成するが、草木の根は土壌を構成する。

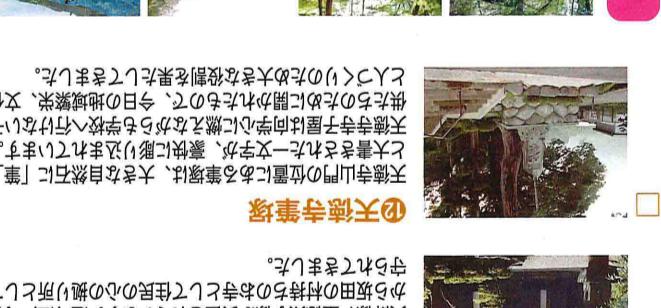
主な草木は草木で構成されるが、草木の下には土壌が形成され、草木の根が土壌を構成する。草木の根は土壌を構成するが、草木の根は土壌を構成する。

主な草木は草木で構成されるが、草木の下には土壌が形成され、草木の根が土壌を構成する。草木の根は土壌を構成するが、草木の根は土壌を構成する。

主な草木は草木で構成されるが、草木の下には土壌が形成され、草木の根が土壌を構成する。草木の根は土壌を構成するが、草木の根は土壌を構成する。

主な草木は草木で構成されるが、草木の下には土壌が形成され、草木の根が土壌を構成する。草木の根は土壌を構成するが、草木の根は土壌を構成する。

主な草木は草木で構成されるが、草木の下には土壌が形成され、草木の根が土壌を構成する。草木の根は土壌を構成するが、草木の根は土壌を構成する。



坂田山の緑

坂田山の緑が見える方へ

坂田山の緑